歌

呉泰治郎

君

作

曲 歌

今ぞなる三次のなった。 う ち 立 た き郷石 狩り 7の曠野 跡をに

博統の輸鐘高く鳴るなn でなどう かねだか は 世を覺醒し世を 導 かん 世を覺醒し世を 導 かん かれたが なるでは さま よるもび かんがれたがなる理想 く鳴るなり かん

の 秘奥か

り 幽遠 ^{かすか} Ň たぎる憧憬 Ŋ

雄叫びは高く湧くなりをたけ

しく強く生かばや

天めった 東ながんがし 世界を救 に 夜ょ暴ぁ 風ら ゆる

う ち 立 た ける證に胸は湧くなりの舎の健兒我等は 7 こん永劫の平和の水ふ大理想もてなるだります。 い あ ¥ かる歡喜 の大旆

我[‡] 先[†] た [†] の解問をいるとときの形の移ろひ なき 神べ の で 見 に

寺が魂強く打つなりの遺せし教訓 高き意欲 い ざ な 0) で 懐 中

に